

パブリックコメントに対する意見とその考え方(提言書)

項目	ページ	ご意見提出者	ご意見	ご意見に対する考え方・対応	取り扱い
	メッセージ	サポートスタッフ	3行目 「私たち」と「わたしたち」が混在しています		
	メッセージ	市民	4つ目「市民がさまざまな領域で…考えます。」 文のつながりが少し変に感じます		
	メッセージ	サポートスタッフ	下から2行目「コンサルティングいただいた」 日本語として通用するのでしょうか。「支援していただいた」くらいでどうでしょう?		
総合計画策定の5つの視点について	1	市民	総合計画策定の5つの視点は同感である。	ありがとうございます。	
総合計画策定の5つの視点について	1	市内在勤者	毎度のことですが、現在の総合計画およびその成果を踏まえた問題点の分析や課題の整理を行わずして新たな計画を検討するスタイルは、「新しい時代の総合計画」とはいえないと思います。この基礎自治体としての「健康診断」を踏まえて策定されるという視点が必要です	現行第4次総合計画の進捗状況の確認は今回の提言書についての議論を始める前提としました。ただ第4次総計では期間内の目標値が設定されていなかったため、現状は理解できても、総計としての進捗度合いを把握する事が困難でした。但し、実施計画段階では実施状況の評価を行っています。これも内部評価にとどまっており、市民にはわかりにくいものです。この点を踏まえ今回の提言書では計画期間内の達成目標を設定する事を提言し、その進捗状況を把握出来るようにするとともにPDCAサイクル機能による評価、改善の実施も提言しています。	
総合計画策定の5つの視点	1	市民	5つの視点 に「市民と行政とが協働で政策を形成し、その実施プロセスも明確にします。」とあるが「市民と行政とが協働で政策を実施するためのプロセスも明確に示された総合計画を旨とします。」に変更。	ご指摘の通り表現が分かりにくいので修正しました。	
総合計画策定の5つの視点	1	市民	5つの視点の を変更 すべての市民にわかりやすく共有できる計画であることを重視します。	の中に入っていますのでご了解願います。分けた方がわかりやすいかもしれませんが。	
PDCAサイクル機能による実効性の評価	1	市民	PDCAは重要であり、賛成。一方、T-QC手法による問題の絞り込み、改善点及び方法のポイントの見出しなど、ABC分析、差異分析などを駆使すべきと考える	PDCAと共に定量的な達成目標(指標)を設定することが、今回の総合計画に関する提言の大きなポイントになっています。PDCAと共に定量的な達成目標(指標)を設定し、達成目標の進捗状況をPDCAサイクルの中で管理し軌道修正を行うことが、今回の総合計画に関する提言の大きなポイントになっています。	x
	1	市民	PDCAサイクルの考え方に比して、T-QC手法が全く使われていない PDCAサイクルの考え方は、全面的に賛成支持します。しかし提言案策定に当たり、CHECKの視点で、数字の裏付けが少なく抽象的に感じる。 またT-QC手法を駆使して問題の絞り込み(ABC分析)、原因の発見(差異分析)が散漫で、多数の発言の集約に客観性が乏しく、問題の絞り込みや、対策が総花的であり、何が重要課題で、対策のキーポイントが見えない	T-QC等の具体的な手法にまではここで触れる必要はないと思っています。実施段階で、どのような手法を活用するのかを決めていただければよいと思います。	x
総合計画策定の5つの視点	1	市民	総合計画策定の5つの視点に次の を追加 メニュー方式(単発型)による政策の実施から、パッケージ型(複合型)の政策を旨とします。 縦割り型の施策から横断的な施策によるシナジー効果を見据えた効率的な展開を旨とします。 ex 協働型施策の実施 地域の人的資源の活用 元気市民 これらを実現する手法(プログラム)開発を併せて取り組む。 山のみどりの保全 地域の人的資源の活用 新産業への支援	今回の提言書では5つの「まちづくりの目標」ごとに分割して、施策レベルの提言を検討しました。ご指摘のように行政の多くの施策は相互に関連する部分があり、それらの施策を総合してパッケージとして計画(P)、実施(D)、評価(C)、改善(A)されるのが望ましいですが、この提言書自体がおっしゃる単発型の政策提言になっております。 しかし、総合計画のあり方としてご意見にあるような視点も に付け加え、今後の総合計画策定の段階で検討願えればと思っています。	
総合計画策定の5つの視点	1	意見交流会	5つの視点は重要。PDCAにより毎年見直していくことが必要。行政だけでなく、第三者の視点で評価する仕組みをつくる必要がある。	基本計画については中間時点(概ね5年前後を想定)で、実施計画は毎年見直すことを提言しています。評価も「まちづくり市民会議」などで市民の視点で実施されることを提言しています。	

パブリックコメントに対する意見とその考え方(提言書)

項目	ページ	ご意見提出者	ご意見	ご意見に対する考え方・対応	取り扱い
総合計画の構成	2	市民	実施計画は3年先までの計画を織り込んだローリング方式の計画を毎年策定することに賛成。基本計画、基本構想についても固定することなく、実績の推移ならびに評価、環境や状況の変化に伴い適宜見直しをすべきである	基本構想や基本計画を頻繁に見直すことは、計画があつてないようなものになりかねません。しかし、従来のように1回決めたら全く変更しないというも硬直的すぎる面があります。従って、10年計画なら中間点の5年目に見直すことや、大きな環境変化に対しては柔軟に対応することを提言しています。	
総合計画の構成について	2	市内在勤者	「新しい時代の総合計画」として市民・行政共有の「地域経営計画」として位置づけを明確にする場合、「基本計画」は、首長選挙の時期に合わせて計画期間を設定すべきだと思います。首長選挙では、施策の優先順位をめぐって戦われるわけですから、選挙によって選出された首長が、市民・行政共有の「地域経営計画」を実施するための行政側のリーダーとして見直し、策定するべきものです	今回の提言書は第4次総計の現状、社会の動きなどを踏まえ、2011年から10年間の総合計画への提言として、市民の視点から作成しました。しかし、最近はおっしゃるような考え方で総合計画を策定する自治体もあり、この提言書でもその考え方を否定せず、結論を策定委員会や審議会に委ねた形にしています。 したがって、ご意見の内容については、この提言書を基本として今後開催される策定委員会や審議会にて首長の意向も踏まえて検討されるとおもいます。	
	2	サポートスタッフ	「フレキシブルな対応ができる計画」とありますが、カタカナは減らしませんか、「柔軟な」で十分だと思います	敢えてカタカナを減らすことにはこだわりませんでした。一般的によく使われているか否かなど、読まれるかたが理解しやすい表現になっているかどうかを心がけました。 ここは「柔軟な」に変更します。	
	2	サポートスタッフ	実施計画を「ローリング方式」とするありますが、説明が必要ではないでしょうか	本文中にも若干説明がありますが、毎年度修正や補完などを行いながら、常に一定期間の先まで計画し、変化する経済・社会情勢に弾力的に対応し、計画と現実が大きくずれることを防ぐ方式です。 この提言書は市民向けではありませんので、専門用語の説明を付けていませんが、市民と共有する「総合計画」では用語集を付ける必要があると思っています。	
年度ごとの予算と実施計画	2	市民	実施計画のあり方として、予算も実施計画と整合性のある予算にすべきだとしているが、単年度予算制度の見直しは検討出来ないのか	予算制度は地方自治法で決められていますが、見直しの余地も充分あると思います。しかし、ここではそこまで言及していません。	x
総合計画の位置づけ	3	市民	「箕面市ではこれまで総合計画の位置づけが明確にされていませんでした」とあるが、何故明確化されなかったか検証したのか。その結果が条例での明確化なのか。(因果関係を問う)	検証していませんが、10年以上前にはそういう定義づけの発想がなく、最近多くの自治体で総合計画の位置づけを明確にするようになってきました。市民も行政もが総合計画の重要性についての認識を共有すべきだと思っています。	?
総合計画の位置づけについて	3	市内在勤者	総合計画が、地域経営を推進するための箕面市の最上位の計画として位置づけられていることは、自明のことなので、条例で明確にする必要があるかどうかは疑問です。但し、箕面市の現状を見ると、上位計画と「都市計画マスタープラン」や「中心市街地活性化基本計画」などの間に計画相互間の齟齬をきたさないように行政が主体的に臨機応変の対応をすべきですが、実際出来ていないと思います。これは「商業活性化ビジョン」、まだ見ぬ「観光基本計画」も含め、整合性が今後も実現可能性が乏しいのならば条例で位置づけする意味はあると思います	おっしゃる通り総合計画と各分野別、テーマ別の計画とは整合性がなければいけませんので、条例で決めるかどうかはともかくとして、総合計画の位置づけを明確にすることを提言しています。	
箕面市を取り巻く社会変化	4	市民	(1)少子高齢化と人口減少 箕面市の人口動態はどうなっているのか。特徴があるのか		?
箕面市を取り巻く社会変化	5	市民	(5)成熟社会の生活不安 下から2行目 「いちだんと難しく大きく重い課題」 他市と比較して論じているのか		?
箕面市を取り巻く社会変化	5	市民	(6)地方分権改革の現実化 広域合併、協業化などの検討をしたのか。平成の大合併で大阪府は最も少ない合併実績だったが、何故なのだろうか?	医薬分野以外、自治体が合併する必要性もメリットもない。	?
	6	サポートスタッフ	8行目 「バックボーン」 カタカナをやめるとすると、「柱」でしょうか		x

パブリックコメントに対する意見とその考え方(提言書)

項目	ページ	ご意見提出者	ご意見	ご意見に対する考え方・対応	取り扱い
	6	サポートスタッフ	枠内 この欄の各段落は、字下げしなくていいですか		
	6	サポートスタッフ	枠内3行目「ポジショニング」 「位置づけ」? 「都市のポジショニングの向上」とは、都市ランキングの上位にあがるようなイメージでしょうか		x
まちづくりの基本となる考え方	6	市内在勤者	地域経営の好循環の構図が誤りだと思います。「箕面の魅力アップ」は、循環のサイクルの最初に来ることはありません。持続的な成長を可能とするための都市経営戦略のもとで、定住人口、交流人口の増加を目指してコンパクトな都市基盤を整備すること最初にあるべきです。だからこそ「総合計画」の中身が重要だと思います。地域資源の活用がこれと並行して積極的に行われることで地域産業が活性化し、雇用が拡大し、住民の定着、若い世代の流入を促し、イメージと評価が向上し、地域への将来の民間資本の投資促進へとつながり、「箕面の魅力アップ」へと循環するものだと思います。 この提言では、地域資源を活用すればまちの魅力を高める入り口となるのが前提となっています。安易に「地域資源を活用する」ということを持ち出すと、「地域資源が活用」されていないから循環がスタートしないというおかしな論理になりかねません。実際、「地域資源を活用」し、魅力を向上させるところまで高めるためには、官民、関係者が一体となって先にやるべきことがたくさんあるということを基本となる考え方で確認すべきです	P7の構図；一番下の「箕面の魅力UP」の枠の中に第5次総計(提言書)を入れる。	
まちづくりの基本となる考え方にある「自助」「共助」「公助」の精神について	6	市民	50年前ならいざ知らず、核家族化も進んだ現在の社会では、自治会も崩壊し「自助」の役割を担える意識が市民にほとんど無いため、市民の自助意識を基盤にしてスパイラルアップをすることは難しいのではないかと、人間の行動を科学的に分析して政策を提言する必要があるのではないかと思います。たとえば、「市民の協力に対し、ポイント制で利益を還元できるシステム」をつくるなどして広く政策を行きわたらせるようにしたらどうだろう。また、市民大学などを作り、市民および行政の意識改革から着手したらどうだろう		x
自助、共助、公助の理念	6・9・10	市民	自助、共助、公助の理念は述べてありますが、目標のどの部分を自助とし、共助とするのか、あるいは公助はどこを分担するのかを、もう少しはっきりさせ、P10以降でそれぞれについて簡単に整理した方がいいのでは無いでしょうか。 例えば、健康は自分で守り、頼れる医療をつります。 (自助) (公助) 特定保健指導(公助)、等	施策レベルの提言(提言シート)の実行にあたっての役割分担を明示して、市民等が取り組むこと(自助)、市民等・行政が協働で取り組むこと(協働)、行政が取り組むこと(公助)として記述しました。	
自助	6	市民	破線枠内2行目「一人ひとりができること」 税、費用についても負担する覚悟は	自助で、必ずしも税の負担が増すとは限らない。市に頼らないで、自分でできることは自分でやること。また、やらされるのではなく、自分から積極的に行動することで、たとえ費用が掛かっても、また自分のできる範囲のことで、負担感はない。むしろ僅かでもやらされているという気持ちでやるなら、不満、不平感がある。	x
	7	サポートスタッフ	「スパイラルアップ」 この言葉は一般的ですか?		
	7	市民	「地域資源の増加」 増加 発掘・開発、活用 が適当ではないか。あるいは箕面の魅力UPの前に発掘・開発、活用があるのかも知れません		x
まちづくりの目標と基本方向	9	市民	1~4の区分けがダブリ、各項目の関係性がすっきりしない。項目関係ネットワーク図で2つくらいに整理すれば解りやすい		x

パブリックコメントに対する意見とその考え方(提言書)

項目	ページ	ご意見提出者	ご意見	ご意見に対する考え方・対応	取り扱い
まちづくりの目標と基本方向	9	市民	目標2.子どもたちの夢が育つまち (4)生涯学び、生涯元気に暮らすことのできる... は、むしろ目標1では無いでしょうか	生涯学習は、本来その中に学校教育も内包するものです。教育とのつながりを考える上では、生涯学習は教育と同じ目標においておく方が望ましいです。	x
まちづくりの目標と基本方向	9	市民	目標1～4は、まちづくり目標ですが、目標5は目標1～4を実行するための市民や行政が取り組まなければならない基盤的な仕組みづくりであり、人材の育成、啓発を担う取組であることを、明確にすべきと思います。この取組自体にも、共助、公助あるいは協働の考えを導入することが適当とかがえます。 (闇雲に自助、共助、公助と唱えても現実的でない。それなりの意識、技術、ノウハウを持つ市民を発掘し、育成し、市民同士が学び合い、世代間の連係など)		
まちづくりの目標と基本方向	9	市民	解決の具体策がもっと欲しい...理念は大事だが、細かな表現レベルは後で修正できる。役所の作文によくみられるように、理念はりっぱでも具体策がなければ絵に描いた餅となる。改革の実効性を高めるためにも、解決策につながるアイデアを集めて検討する時間をもう少し優先したほうがよいのでは?時間制限もあり、実際にはこれを充実させるのは難しいが、例えば今後市民各層から広くアイデアを出してもらおう方策などを検討されたらいかが?		?
健康・医療	10	市民	一口に長寿社会と言うが、どのような長寿を想定するのか	「健康づくり」や「いきいき生活プログラム(介護予防)」の目的は市民が命ある限りいつまでも元気にいきいきと暮らすことです。世間で言われるPPK(ピンピンコロリ)がそのイメージに近いものです。 これは「健康寿命の延長」と考えられますから、具体的な指標は要支援・要介護状態の有無を基準としました。	?
市立病院	10	市民	(1)本文下から2行目「経営改革をすすめ」 具体策と実効性は	「公立病院改革ガイドライン」に基づく改革プラン作りが平成20年度内完成を目標に進行しています。「経営の効率化のため」に給与・定員の合理化や病床利用率の向上など、「機能再編・ネットワーク化のため」に基幹病院と他の医療機関の機能分担や地域の医療供給体制維持、また「経営形態の見直しのため」に独立行政法人化などを含む民間的経営手法の導入などです。 この改革プランに基づき市立病院では「質の高い医療の供給」、「広域連携による医療圏単位のサービス提供」、「経営基盤の強化」の実現を目指しています。その成果を期待しています。 ご質問に答えるため「提言シート」の該当欄記述を詳しくしました。	
介護サービスの充実	10	市民	(2)本文3行目「民間事業者の活力を積極的に利用する」 費用発生の場合、負担は誰がするのか	・費用の負担を減らすために、民間活力を導入する。(佐藤さん) ・介護保険制度の限度を超えるサービス費用の負担は被保険者側が保険料とは別に担うべきと考えます。 被保険者のサービス要請と保険制度の限度との差異を埋めるため、あるいは介護保険事業運営に関わる費用を抑制するために、介護サービス等を提供する民間に期待できる対応や工夫を採る努力は欠かせません。保険者、被保険者とサービス提供者間のさまざまな視点からの工夫が介護保険制度を充実・発展させるものと考えます。(川端さん)	?
障害者	10		障害者が外出しやすいまちづくりを進めていくことが必要	地域のバリアフリーをすすめ、ノーマライゼーションの実現に向けた環境整備を提言しています。	

パブリックコメントに対する意見とその考え方(提言書)

項目	ページ	ご意見提出者	ご意見	ご意見に対する考え方・対応	取り扱い
障害者・外国人	10	市民	(2)本文下から4行目、下から2行目「支援」費用(財源、負担)は	この提言書は総合計画策定のための提言としての位置づけであるため、巨大事業は別にして、通常の行政運営の中で決定されている個別事業に関わる財源の決定については触れていません。 ご質問に関わる市民会議の提言は総合計画策定委員会、同審議会で検討され、総合計画に取り入れられた後、議会の議決を得て、はじめて該当する個別の事業計画が策定される予定です。 それぞれの事業計画に対応する費用は、その後行政運営の中で事業年度予算として決定され、議会の承認を得て、適切に実施されるものと考えております。 なお市財政改革の重要性については別途提言をしています。	?
	10	サポ-トスタッフ	(2)本文下から3~4行目「内外人平等の原則」これは一般的な言葉ですか?	国内では日弁連「人権擁護大会宣言・決議集」(人権神戸宣言)や「三田市在住外国人教育基本方針」などでも使われています。 この原則は「国際人権B規約」に準拠する概念です。	?
障害者	11	市民	4行目「教育」専門教育と普通教育の検証はしたのか	支援学校と普通学校のあり方については、それぞれの現状やあるべき姿を踏まえ、提言シートP10において、障害のある人もない人も共に地域で暮らすことを支える教育の充実を提言しています。学校の選択により障害当事者が不利益をこうむらない配慮が必要だと考えます。	
障害者	11	市民	障害者は受け身か?	提言書p10(2)の本文にあるように、障害者の地域での自立に向けた提言を行っています。障害当事者の取り組みは、提言シート集P9で具体的に言及していますが、提言書P11の(実現する暮しの姿)において、自立した暮らしと市民として積極的に地域活動に参加することを加筆しました。	
安全	11	市民	(3)本文2行目「地域毎の自主防災組織を自治会と消防団…」消防団の機能と市消防署充実との比較をしたのか	専門職として24時間体制で勤務する消防署(108人)と、団員それぞれが職業を持ち、火災や災害時等に出勤する消防団(合計587人、出勤率:夜間90%以上、昼間20%前後)は常にその役割を分担して協力し合います。 大規模災害時などでは消防署は市の災害対策本部としての役割を務めると共に災害からの防衛、救出・救助などに当たります。一方地域の団員で組織される消防団(23分団)は通信、交通途絶等のため市の初期出勤が即応できない場合にも、まず地域で住民と協力して「自らを守る体制」を築きます。さらに災害対策本部と組織的に協力しあって、災害からの防衛・救出・救助や災害広報の役割を担うことが出来るので、両者の協力を前提として市の災害応急対策計画が作られています。地域の自主防衛組織づくりではこのような消防団の特徴が推進力となるものとして、その協力について提言しました。	?
働く	11	市民	(4)みんながいきいき働くまちをつくります 起業については触れているが、市民サービスの市場化などの施策実施にかかる行政との協働(フロンティア事業)の推進についても触れて欲しい。これが、箕面の独自性であったり、魅力アップの大きな原動力だと思います	ご指摘の行政との協働(フロンティア事業)は新しい形の雇用機会になるものとして取入れました。	

パブリックコメントに対する意見とその考え方(提言書)

項目	ページ	ご意見提出者	ご意見	ご意見に対する考え方・対応	取り扱い
働く	11	市民	<p>「ディーセント・ワーク」について いきいきと働けることは、とても大事なことです。働くことは社会とつながり、ひととつながり、知恵を共有し、豊かな人間らしい暮らしをつくることです。障害がある人もない人も、誰もが働く権利があるのだと思います。人間らしく働けることは、「生活ができる」「雇用が安定している」「誇りがもてる」など、人権があるということではないでしょうか。</p> <p>しかし、様々な規制緩和が行われ、市場がグローバル化された国際社会の中での、大競争主義・能力主義が、働くもの同士を競争相手とし、決して仲間にはなれない人を排除するような非人間的な働き方が広がっています。(特に若者に広がるワーキングプアや非正規雇用の問題)</p> <p>21世紀に入ってILO(国際労働機関)が活動目標にあげているのが「ディーセント・ワーク」だそうです。ディーセントとは「まともな」という意味ですが、「人間らしい労働」「尊厳ある労働」などと訳されています。ILOではディーセント・ワークを普及させるために、「労働の基本的原則と権利 = 人権と労働」「雇用と収入」「社会的保護と社会保障の強化」「社会対話の強化」の4つを挙げています。そして「労働は単なる経済活動ではない」と言っています。</p> <p>このディーセント・ワークの視点が「みんなが生き生き働くまち」につながるのだと思います。ぜひこのディーセント・ワークの位置づけをし、提言の中にこの言葉を入れてください。まだまだ日本のなかでは、広がっていない言葉ですが、必ずこの言葉が、ノーマライゼーションやバリアフリーなどという言葉が浸透していったように広がるはず。また、広がらなければ「人間らしくいきいき働くまち」をつくっていくことができないと思います。</p>	<p>表題の「みんながいきいき働くまちをつります」の実現にはご意見にある「人間らしく働くことが大切です。」「過労死」や「ワーキングプア」、「名ばかり管理職」など社会でいま問題となっている労働環境の解決にあたり、「人間らしさ」の視点を含む「ディーセントワーク」の概念が極めて重要であると考えます。</p> <p>ご指摘に従い「ディーセントワーク」を提言書と提言シートに取り入れます。</p>	
働く	11	市民	働く場(事業所)の拡大、誘致をどう考えるのか	<p>箕面市でも社会を取り巻く変化に伴い、遠距離の通勤を避け地域内で仕事を求める市民が増えています。このような就労要請に応えることが地域活性化のため大切な要素と考えます。</p> <p>そのため箕面のみどりや自然豊かな住宅都市としての特徴を大切にすることを基本として、まちの性格を変えることなく、地域の各種事業の発展を中心として、起業を含む多様な雇用機会の創出をすすめることを提言しました。</p>	
働く	11	市民	(4)本文4、6、7行目「支援」費用(財源)は	<p>この提言書は総合計画策定のための提言としての位置づけであるため、巨大事業は別にして、通常の行政運営の中で決定されている個別事業に関わる財源の決定については触れていません。</p> <p>ご質問に関わる市民会議の提言は総合計画策定委員会、同審議会で検討され、総合計画に取り入れられた後、議会の議決を得て、はじめて該当する個別の事業計画が策定される予定です。</p> <p>その後行政運営の中でそれぞれの事業計画に対応する費用が事業年度予算として決定され、議会の承認を得て、適切に実施されるものと考えております。</p>	?
働く	11	市民	(4)本文下から3行目「楽しさや大切さ」が理解され、 【追加】厳しさ、責任、忠誠心など	<p>「働く」事にはご趣旨の如き数多くの要素が含まれて居ます。「大切さ、厳しさなどを理解…」として取り入れました。</p>	
人権	12	市民	「実現をする暮らしの姿」に「障害のある子ども、ない子ども、地域で「ともに学び、ともに育ち」いきいきと暮らしています。」を入れてください。障害がある人を理解することの前提は、ともに学び・育つことだと思います。必要などころでは、必ずこの文言を入れてほしいです。	<p>ともに学び・育つ教育については、提言シートP10「障害者市民」の教育において、地域で「共に学び」、「共に育つ」ことの現状と重要性を認識し、障害児の教育について、市民と行政との協働をすすめることを明記しています。</p> <p>なお「実現する暮らしの姿」は提言書の構成上、短文で全体をまとめる表現をしているため、ご要望に応えられないことをご了解下さい。</p>	

パブリックコメントに対する意見とその考え方(提言書)

項目	ページ	ご意見提出者	ご意見	ご意見に対する考え方・対応	取り扱い
人権	12	市民	(1)本文1行目「子どもの人権」 現状は過剰と思う。責任と義務の心が薄れていないか	提言の中には、子どもの自主性を尊重した、発言の場があります。それは、子どもたちに責任や義務についても考えてもらう場所でもあります。また、子どもたちの人権を守るため、自らで考える場でもあります。なお、権利と義務を学べるようにすることは、提言シート(11)のいきいきとした子どもたちが育つまちで提言しています。	
人権	12	サポートスタッフ	(1)本文3行目「制定」 制定されていませんが、問題ありませんか？	ここでは社会一般の動きを記述しております。	?
人権	12	市民	(1)本文4行目「男女の待遇の違い」 社会通念やしきたりの問題だけでなく、男女の資質差、働く事への考え方の差を考慮なくとも良いのか。(どちらが大きいのか)	・何故、男女の賃金差、働く事への考え方の差ができたのかを皆が考えるスタートのために男女共同参画推進条例を作る。(佐藤さん) ・ここでは男女間の資質や働く事に対する考え方の差異の有無にかかわらず、社会通念や習慣・しきたりにより、活動の[機会]や能力を発揮する「機会」を男女間で等しく与えない事態をなくするように述べています。(川端さん)	x
人権	12	市民	(1)実現する暮らしの姿3行目「人としての権利」と同時に義務(守るべきこと、してはいけないことなど)も持っています。	提言の中には、子どもの自主性を尊重した、発言の場があります。それは、子どもたちに責任や義務についても考えてもらう場所でもあります。また、子どもたちの人権を守るため、自らで考える場でもあります。なお、権利と義務を学べるようにすることは、提言シート(11)のいきいきとした子どもたちが育つまちで提言しています。	
子育て支援	12	意見交流会	最近では地域の大人たちが子どもたちを叱らなくなった。敬語が使えず、社会常識をわきまえない若者が育つ。顔見知りであるかどうかに関わらず、大人たちが子どもたちに注意していくことが必要。	その通りだと思います。地域の大人たちが見守ることは、子どもたちの成長には大切なことであると思います。出来れば、叱るだけではなく、いいところを褒めるようにしていただけたらと思います。褒めることや叱ることについては、提言シートに反映させました。	?
子育て支援	12	意見交流会	お金が介在しないような教育のあり方を考えていくことが必要である。	ご意見ありがとうございます。その通りであり、その一つである地域での教育を充実させることは、子どもたちに、有益なことと思います。	?
子育て支援	12	市民	下から2行目「経済的な支援」 財源は、負担は？	この提言書は総合計画策定のための提言としての位置づけであるため、巨大事業は別にして、通常の行政運営の中で決定されている個別事業に関わる財源の決定については触れていません。 ご質問に関わる市民会議の提言は総合計画策定委員会、同審議会で検討され、総合計画に取り入れられた後、議会の議決を得て、はじめて該当する個別の事業計画が策定される予定です。 それぞれの事業計画に対応する費用は、その後行政運営の中で事業年度予算として決定され、議会の承認を得て、適切に実施されるものと考えております。 なお市財政改革の重要性については別途提言をしております。	?
	13	サポートスタッフ	6行目「モバイル」「携帯電話」(P.28にもあり)	ご指摘ありがとうございます。変更いたしました。	
教育	13	意見交流会	少人数学級が教育の効果に現れるのか疑問。学校によって挨拶の取組みなどに違いがある。公立学校の中での格差が心配される。	生徒、児童への細やかな対応において、少人数学級の方が望ましいと考えます。なお、大人数教育にも競争による切磋琢磨というメリットはあります。この提言書は、質面の魅力アップを掲げ、若い世代の流入を考えています。子どもたちが増える状況を控え、少人数学級であるほうが望ましいと考えます。	?
教育	13	市民	(3)本文1~2行目 学校の教育の在り方を変えなくては？ その方策は？		?
教育	13	市民	(3)本文4行目「教育に生かす制度」 教育委員会、教職員の領域に踏み込み、改革する方法は？	教育委員会、教職員の領域でも、教育推進部の方針でできると思います。	?
教育	13	市民	(3)本文下から2行目「意見を出す」「意見やお手伝いする」	子どもたちが自主的に考え、行動することが大切だと思います。子どもたちの意見を市民の意見として受け入れる力が大人には必要です。	?
教育	13	市民	(3)実現する暮らしの姿1行目「少人数学級」 少人数学級が本当に効果的か？(例えば過疎地の教育は問題はないのか) 実態はほぼ少人数学級になっているのでは？	生徒、児童への細やかな対応において、少人数学級の方が望ましいと考えます。なお、大人数教育にも競争による切磋琢磨というメリットはあります。この提言書は、質面の魅力アップを掲げ、若い世代の流入を考えています。子どもたちが増える状況を控え、少人数学級であるほうが望ましいと考えます。	?

パブリックコメントに対する意見とその考え方(提言書)

項目	ページ	ご意見提出者	ご意見	ご意見に対する考え方・対応	取り扱い
教育	13	市民	(3)実現する暮らしの姿3行目「子どもたちが考えたことが、考えるだけでなく、大人と一緒に	子どもたちが自主的に考えることが大切だと思いますので、大人はあくまでサポートであるべきだと思います。	?
生涯学習	13	市民	(4)本文下から2行目「システムを作り」 費用は? 無償ボランティアか	特別にこの為だけの組織でなく、他との兼業ででき、今、市民活動センターで稼働しようとしています。	?
生涯学習	13	市民	最下行「学校の余裕教室を活用」 一部は既に実施されているが、学校の開放は、教育委員会、教職員の同意が得られるのか	学校は、市の所有物で、また市民皆の所有物でもある。授業の妨げにならないなら、教室の有効利用になる。	?
環境	14	市民	昼夜電力の使用実態とそれを埋める方向か?		?
環境	14	市民	目標3本文6行目「健全な水循環の確保」 現状は不備か?		?
エコライフ	14	市民	(1)本文2~3行目「太陽光発電・・・雨水利用の推進」 費用負担は?		?
エコライフ	14	市民	(1)実現する暮らしの姿5行目「資源回収団体、回収業者への奨励」 焼却とどちらが得か?	ゴミの減量は、コスト削減のためだけでなく、限りある資源の循環やCO2環境対策のためにやる。最近、古紙、金属などの資源の高騰で、焼却よりコストは掛からない。焼却は一見安くつきそうだが、燃やしてできた灰を遠くに運ぶ運搬費用と、埋め立てる処分費用とまた将来の埋立地が更に必要となり安くはない。	?
エコシティ	14	市民	(2)本文2~3行目「地盤の強度や・・・安全に配慮」 どの程度の対策を考えるのか		?
エコシティ	14	市民	(2)本文4行目「健全な水循環再生を進め」 上水の府よりの購入が仮に減った時、問題は生じないのか。(府への長期負担を約束していないか)		?
エコシティ	14	市民	(2)本文最下行「上水道の安定供給」 現状は不安定なのか		?
エコシティ	14	市民	(2)実現する暮らしの姿3行目「計画的に整備」 厳しい財政状況下で整備するのか。(延期、中止はないか)		?
	15	サポートスタッフ	4~5行目「カーシェアリング」 説明はいいませんか?		x
公共交通	15	市民	(3)人と環境にやさしい公共交通を充実し利便性を高めるまちをつくります(公共交通)について 市内巡回型の公共交通と市外への移動利便性向上とした都市間交通インフラ開発が必要とされているが、なぜ、都市間交通インフラ開発のみ過度に慎重に意思決定の仕組みを要しようとしているのか。市内、市外の交通インフラの位置づけは、共に環境にやさしいまちづくりを成す上で同じはずである。財政負担の回避のために意思決定を過度なものとするは非常にバランスが悪い。今の環境では市外に移動する電車の場所も遠く、車を移動手段とするしかない。次世代の負の財産とは使うお金だけでなく、まちの発展に躊躇した状態のまま引き渡すことである。交通充実の手法である財源については、国や府、民間の協力により対応できるものであると考えるので、市内交通、都市間交通を問わず、環境負荷、必要性、財源を慎重に検討し、コンパクトなまちづくりと整合性のある「都市計画マスタープラン」を策定して交通手段の普及を同様に進めてほしい		
公共交通	15	市民	(3)実現する暮らしの姿 福祉バスは無料でも自助の精神にかなうのか	福祉バスを無料にするとは限らない、有料の構想が現在ある。しかし、乗り継ぎなしで市内全体を循環できる交通体系で、高齢者、障害者などは無料又は、月単位の定額制で乗り放題の料金体系にすることもできる。	

パブリックコメントに対する意見とその考え方(提言書)

項目	ページ	ご意見提出者	ご意見	ご意見に対する考え方・対応	取り扱い
道路整備について	15	市民	(3)実現する暮らしの姿1行目 市内循環を進めるためにこれを優先課題とすべきです。例えば、箕面駅前再開発時、阪急セブン北側道路がなぜ一方通行道路になったのか。その当時から比べて西側の人口・会社も増加しており、府道箕面池田線を利用しなければ駅前周辺に行けない不便さがある。駅を中心としてみれば偏ったことであり、この地域では無理であるが、西洋などの円形広場は放射線状に街路がある。人が利用しやすい、集まりやすい。これは歩くのみでなく、交通機関の利用・物流の運搬やこれから高齢化が進むにつれ移動手段としてのアクセスが便利になればと思う。コンパクトなまちづくりと矛盾しない都市計画マスタープランの策定が求められます		
東西交通の新しい交通網について	15	市民	(3)実現する暮らしの姿1行目 阪急箕面駅周辺へ行く交通網をもっと検討して頂きたい。現実、朝・夕のわずかな数便しか箕面駅へ行くバスがありません。この様に市内の公共交通の不備が限界まで達しているのが最優先の課題として位置付けし、実現の為にプロジェクトチームを作るなど行政の主体的な責任を明確にして実現に向けて、過去の姿勢と明確な違いを示す計画にしてほしい		
北大阪急行延伸について	15	市民	(3)実現する暮らしの姿5行目 北大阪急行延伸の計画がされているようですが、将来箕面市にとっては必要かもしれませんが、市東部に在住している私にとっては全く必要と感じません。同様に必要性や事業の妥当性に疑問を持つ人も多いと思うので慎重に検討することは賛成です		
公共交通	15	市民	(3)実現する暮らしの姿6行目「市民の十分な認識と合意」 特に第二名神事業は国家的視点が重視されるもので、単に一部通過する自治体の市民の合意(or不合意)は、どんなスタンスになるのか	国の事業だが、トンネルの残土を箕面市に捨てるのに市が全く文句をいえないのはおかしい。橋下知事も、国事業に注文をつけていっている。これからの自治体は、地方分権、地方自治の時代、府のみならず、市でも国に物申すことも必要である。	
「箕面らしさ」を活かすまち	16・43	市内在勤者	観光については、箕面の観光の魅力は、今ある地域資源を活用するという観点では、地域間競争に勝てる魅力ある観光を創造することは出来ません。また、観光品の新しい品目を創出しても売上が自動的に上がるものではありません。観光を開発推進する主体や構造に問題があるのです。基本的に観光客、来外者にとって魅力的な資源は提供する主体のホスピタリティの質に大きく左右されます。観光案内所の機能を含めて総合的にまちとしての魅力を高める観光地としての整備を構造改革によって進めるべきです。この構造に対する改革の取り組みなくして魅力ある「箕面らしさ」を活かすまちを創出することは出来ません。行政は、率先して箕面の観光はいかにあるべきか、これを実現するためにはどのような構造で何をする必要があるのか主体的に他都市の事例などを研究してリードする責務があります。この担い手の組織改革、担い手の育成、確保を進めることをテーマとして掲げるべきです。 産業については、観光、農業、商店街の活性化では、産業の活性化の柱としては不十分です。大型商店店の進出に伴い商店街が元気を失った面は否定できませんが、根本的な問題は、都市政策、交通政策の問題です。農業を機軸に産業の活性化を論じるのは間違いだと思います。まちなか居住を促進し、魅力ある町並みを整備することと一体的に推進すべきものです。地域への将来の民間投資を促進する仕掛けが最も重要です。魅力ある商業、サービスを実現するための人的資源の育成も重要です。農業も大切ですが、まちの顔であるコンパクトな中心市街地の整備を官民一体となって進めることこそが活性化の基本になることを明確にすべきです	「箕面らしさ」として観光産業をとりあげましたが、ご指摘のように、従来からの明治の森国定公園を中心としたもので、あまり目新しいものとはなっていません。20世紀の高度成長期を終えてこれからの社会で箱物的事業は成立しないと判断しました。箕面への観光客は「自然、緑、安らぎ、手軽さ、観察」そして健康志向と癒しさらに最近「地元特産品の買い物」(道の駅的要素)を求められて来られるのではないのか、と考えました。よって今ある資源の活用を中心とした提言内容となりました。しかし現在でも資源を十分に活用しているとはいえません。季節を通じて、またその目的に応じてニーズに答えられる工夫(もてなし)が必要だと思っています。その点ではご指摘の観光産業への取り組みや機能見直し、構造改革も視野に入れる必要がこれから大いにあります。産業については観光・農業・商店街の活性化だけの議論では当然ありません。ご指摘の通り都市政策、交通政策、民間設備投資や、人材育成などの政策が必要だと認識します。本項では「箕面らしさ」の視点からの提言で課題を少し絞って検討したので、その部分まで踏み込みしていませんが、ご意見により一部提言書を修正させていただきました。	

パブリックコメントに対する意見とその考え方(提言書)

項目	ページ	ご意見提出者	ご意見	ご意見に対する考え方・対応	取り扱い
歴史・伝統文化	16	市民	街並み保存などの考え方は？	桜ヶ丘2丁目の大正住宅博覧会地区は「都市景観形成地区」に指定されており今後も景観形成のためのルールを定めることが出来ます。また対象の住宅も登録文化財に指定されており対象と考えおります。今後もこのような扱いや、指定はおこなわれていきます	
住環境・まちなみ	16	市民	既成市街地のまちづくり、安全、道路拡幅など、どのように整備するのか？	既成市街地における道路問題は日々の生活安全面でニーズの高い課題だと認識しており、別項 目標1:の暮らしの安全課題として提言させていただきました。	
住環境・まちなみ	16	市民	(3)実現する暮らしの姿2行目「まちづくりが進められています」常にチェックが必要、経済状況によって変化する	彩都、箕面森町など大規模事業については常に事業内容、財政面をチェックし、問題ある場合は速やかな対策・対応が必要です。そのような提言を目標5・財政健全化の項で行なっております。	
観光	16	市民	(4)本文4行目「歴史的な建物や 巡礼街道、…」 [追加]西国街道	西国街道も箕面市を通る重要な歴史街道ですので、ご指摘どおり提言書に組み入れました	
農業	16	市民	下から3行目「箕面の農業の今後のあり方」を検討します 第三者が農政にどれだけ踏み込めるのか	「箕面のこれからの農業」を検討する議論の場で、消費者である一般市民もそれに参画する事は意味のあることと考えました。行政を中心に農業関係者以外も加わる事で新しい展開を期待しての提言です	?
	17	サポートスタッフ	目標5本文2行目「自律」 この「自律」は意図的ですよ？	「自立」ではなく「自律」です。	?
誰もが公共を担い、みんなでつくるまち	17	意見交流会	若い世代がまちづくり参加できる機会が少ない。若い人の想像力と年配者の知識を融合させて未来の未来に貢献できればと思う。議会や市役所に入りやすいシステムを望む。	おっしゃるとおり若い世代や現役世代の市民もまちづくりに参加できるような仕組みや制度は必要と思いますので、例えば土日の議会開催などを提言しています。	
誰もが公共を担い、みんなでつくるまち	17	意見交流会	若い人やNPOの意見を取り入れて提言書をまとめて欲しい	目標文面に問題認識を記載 今後の課題	
誰もが公共を担い、みんなでつくるまち	17	意見交流会	市民活動センターでも、若い人やNPOの意見を取り入れる工夫をしていきたい。	今回の提言に当たっては、今後の課題 目標文面に問題認識を記載	
地域コミュニティ	17	市民	人々の意識、考え方をどの様に変えるのか、方法、手段、成果？ 地域活動は女性中心のきらいがある。男性にどの様に参画させるのか	政治となると、一歩引き下がる人でも、地域のまちづくりとなると、子育てのお母さん達は、身近なことなので、興味をもたれます。ただ、地域活動のリーダーは、今元氣なりタイヤされた男性、女性です。今後の課題	
	17	サポートスタッフ	(2)タイトル 公益活動「ネット」(P.47にもあり) 「ネットワーク」のほうがいいのでは？	変更	
公益市民活動	17	市民	若者や現役世代をどの様に引き込むのか具体策は？	目標文面に問題認識を記載 今後の課題	
行政経営	18	市民	財政健全化は無駄の排除だけでは出来ない。新しい財源の捻出方法は？ 財政規模の縮小は循環金額の減少につながるのか？	受益者負担の増額、遊休資産の売却、行政保有の媒体等を活用した広告収入、税金や保険料等の徴収率向上、競艇事業の効率化・活性化など、財源の捻出に努める必要はありますが、新たな方法は提言できませんでした。具体的に何が教えていただきたいです。 新たな財源も大切ですが、億単位の歳出削減策があるのに比べて、歳入増加には限度がありますので、歳出削減も重要な課題だと思っています。箕面市は、サラリーマンが多く、事業者・商工業者などの割合が低いうえ、大きな市の事業は市外の業者がし、市民も必ずしも市内で買い物をするわけではなく、市の歳出削減＝循環金額の減少に直接つながらないと思います。	?
行政経営	18	市民	審議会や委員会に参画する市民が増えるのは賛成だが、議会との関係はどう調整するのか(出来るのか)	審議会や委員会などで検討された結果が、案件によっては議会で決議されるのですから、審議会や委員会などの結論にこれまで以上に市民の意見が的確に反映されたとしても、議会との関係は変わらないと思います。	?
医療	19	市民	(医療)本文5行目「救急相談所」 救急時に相談する人がいるのか？	8000同様の電話相談の開設を提案しています。 相談に答える窓口の体制作りは課題ですが、子どもの急病については44都道府県が、大人についても伊丹市が7月から開始と報じられていますので実現可能であると考えます。	?

パブリックコメントに対する意見とその考え方(提言書)

項目	ページ	ご意見提出者	ご意見	ご意見に対する考え方・対応	取り扱い
医療	19	市民	(医療) 本文最下行「受診したい病院」 医師の診療、態度、能力が信頼出来るか？	地域、広域の連携体制確立のみならず、院内のチーム医療による良質な医療確保のため市立病院は一層の努力が必要です。さらに医師を含む全職員の意識改革のため、既に病院内で取り組んでいる「患者満足は職員満足から」や「Positive Evaluation活動」など患者満足度を高める活動などをさらに推進し、市立病院に対する信頼を一層向上させることにより「受診したい病院になる」事を期待して提言しています。	?
市立病院	20	市民	主要な取組2つ目 かつて私が提言(まちづくり塾)した広域運用、協業化を推進すべきと考えるが	「市立病院の医療を広域提携する」は市民会議でも提言しております。ご提案の具体的方策の方向は同一でありますので、ご提案の具体的改善効果を明らかにして提言に追加すべきと考えますが、検討の基礎となるデータがないため、詳細な検討を進めることが出来ません。 市民会議に対し改めてこのご提案があったことを市当局に伝達いたしますのでご了承下さい。	
障害者	21	市民	(障害者) 障害者の還元は(社会貢献?)	障害者の地域での自立には人によりさまざまな形があるとおもわれますが、自立とは、地域から孤立することではなく、さまざまな支援を利用しながら地域に主体的に参加することです。ひとりひとりが豊かになり地域に参加することで、地域も豊かになると考えます。	?
	21	サポートスタッフ	(障害者) 本文6行目「あたりまえに」 直前の漢字とは意図して変えて、ひらがなにしているのでしょうか	ひらがな表記に統一します。	
	22	サポートスタッフ	暮らしの姿2つ目 4つ目の指標「法内施設」 説明があるのでは？	必要な説明を加えます。	
安心安全でみんなが生き生き暮らすまち、及び地球環さきがけのまちに関して	23・33・36	市民	P.23暮らしの安全 P.33地球環さきがけのまち P.36人と環境にやさしい公共交通利便性を高めるまちづくり 三項につながる提案 箕面市の交通安全、地球環さきがけのまち等を実現する方向性として自動車の数を減らすTDMを実施する事が最優先課題だと考えます。学校の通学路等 当然交通規制すべき道路を増やし、平行してコミュニティバスの充実を図ること。コミュニティバスを福祉の概念だけで運営するのでは財政状況に大きく左右され、拡大は望めません。マイカーに替わる市民の足としてきちんと位置づけし、福祉免除者以外		
暮らしの安全	23	市民	(暮らしの安全) 本文2行目「変化に対応した対策」 具体策は？	市民生活の変化に即応する安全対策を広く実施する必要性を提言しています。ここではバリアフリー化と自転車も安全に利用できる道路整備などを例示してい	?
まちの見守り活動	24	市民	主要な取組3つ目 子どもの自衛力を育てる必要性を感じるが？		?
消防団の見直し	24	市民	かつて消防組織、機材が充実して来た今日、団員の主力である農家、商店員が少なくなり、消防団の出動時間にタイムラグが大きくなっている。また、新しく開発された住宅地では消防団組織がない。これらをカバーする消防署が充実する中で、必要性を検証すべきと考える	消防署と消防団は火災時のみならず、災害時の救出・救助活動でもそれぞれの役割を担って協力合っています。 消防につきましては消防団のない新しい住宅地を消防署の充実によりカバーする事も可能でしょう。しかし災害時の通信、交通途絶等のため消防署の初期出動が即応できない場合に、まず地域の消防団がそれぞれの地域住民と協力して「自らを守る体制」を築く既存の機能を地域の自主防災組織のみに頼るべきか否かについては十分な検討を要するものと考えます。 ご提案の消防団必要性の見直しは、未だ設置が進まないために市民会議がこの度提言している地域の自主防災組織設置の進捗度合いも考慮しながら、別途検討すべき課題と考えます。	x

パブリックコメントに対する意見とその考え方(提言書)

項目	ページ	ご意見提出者	ご意見	ご意見に対する考え方・対応	取り扱い
消防組織に救急隊を入れるべきか(特に救急搬送)	24	市民	各地に普及しつつあるドクターヘリ及び千里救急センターは医師が同乗している。この例にみられる如く、消防組織に救急隊を所属させるのが良いか否か、検討すべきと考える	救急隊(搬送)は24時間勤務体制を求められ、傷病以外に火災や災害時の救助・救出とも強い結びつきがあることから消防組織への所属が妥当と考えます。 なお箕面市消防本部救急業務運用規定では救急隊長が必要に応じてドクターカー出動、あるいは医師の派遣を要請することになっています。 搬送方法に関わらず、基本的課題である医療機関救急外来の収容余力の改善が出来れば多くの問題は解決できるものと考えます。	x
	25	サポートスタッフ	(働く)本文6行目「ビジネスマッチング」これは一般的な言葉ですか?	「外注先を探している」、「仕事を受注したい」、「新規取引先を開拓したい」等のニーズを有する企業に対し取引マッチングをするなどの機能を有するネットサイトを開設している”中小企業庁”はこれを「ビジネス・マッチング・ステーション」と名付けています。 「ビジネスマッチング」は定着した言葉と考えます。	?
働く	25	市民	(働く)本文7行目「地域で安定した多様な雇用機会の増大」近年の箕面市発展の歴史で、大阪などの企業の住宅地として発展したにもかかわらず、地元で就業したいという期待をもつのは如何か。また働き場があるのか?	・大企業は少ないが、サービス産業を主体にいろいろあります。新聞折込の求人紙には毎週多くの募集ちらしがはいっています。(佐藤さん) ・箕面市は就労者の多くが地域外で勤務する住宅都市ではありますが、社会の変化に伴い子育てに重点を置きながら仕事をする、あるいは定年退職後自分の自由時間を仕事に充てる、また障害者市民が近隣で仕事をするなど、遠距離の通勤を避け地域内で仕事を求める市民が増えています。このような就労要請に応えることは地域活性化のためには大切な要素です。 現在はこのような就業要請に応える働く場が十分でないと考えため、地域で起業を含む多様な雇用機会を創出することが欠かせないとして提言をしました。	?
働く	25	市民	(働く)本文下から6~8行目 シルバー制度を良とはするが、全仕事量もマンパワーであり、老人が働けばその分若い人の働く場が減るはずがどう考えるのか。(定年制の一つの側面)	・シルバーの方は、短時間労働や、不定期の仕事が多く、若者の仕事とは業種が違ふことが多い。(佐藤さん) ・ご指摘の如く高齢者と若年の仕事と同じ領域で重なり、競合関係が生じる事は考えられる事です。 そのため「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」でシルバー人材センターの業務等については「臨時的かつ短期的な就業(雇用によるものを除く)またはその他の軽易な業務に関わる就業(雇用によるものを除く)を希望する高齢者退職者のために、これらの就業の機会を確保し、組織的に提供すること」としてしています。したがって同センターは長期の仕事や直接雇用関係が発生する仕事は取り扱いません。また、高齢者が働くことを考慮し、危険・有害な仕事は引き受けられない事になっています。 箕面市シルバー人材センターはこの法律の趣旨に則り運営されていますので、高齢者が若年者の仕事を奪うような問題は構造的には生じ難いと理解しています。 なお同センターでは仕事の場を増やすための「就業開拓」活動を地域の中で積極的にすすめています。	?
職場教育充実計画	25	市民	主要な取組 概要3行目「学校教育」誰が教えるのか。企業の厳しい職場を体験したこともない教職員に教えられるのか	職業教育は「働く」事に関心を深めるためのカリキュラムを作成して実施する事を想定しております。その中では現場を訪ね仕事をする人たちとの会話や企業をはじめ多様な職場での経験者の話、あるいは社会人ゲストティーチャーによる指導など工夫を凝らし、子ども達が将来さまざまな職業生活に入る事に関心を持つための基本的事項を習得させるべきとして提言しております。	?
	26	サポートスタッフ	(人権)本文下から4行目「協同」この漢字でいいのでしょうか? 次ページにもあります		?
人権	26	市民	暮らしの姿1つ目 指標2、3つ目 指標とする理由が判らない(能力主義の立場から)	このような指標は男女の活動「機会」を均等に近づける状況を知るためのものです。 この「積極的差別是正政策」はそれぞれの能力を発揮する「機会」は提供しますが、能力のないものにその地位や機会を継続的に保証するものではありません。	?

パブリックコメントに対する意見とその考え方(提言書)

項目	ページ	ご意見提出者	ご意見	ご意見に対する考え方・対応	取り扱い
人権	26	市民	暮らしの姿2つ目 指標2つ目 多くは学校教育に原因があるのでは？	基本的に社会の縮図、大人社会がはじめのある社会、自分のことしか考えない社会、近所とかかわりをもたない親、お金至上主義、利己的な親の価値観で、育てられるのが原因。	?
男女協同参画 推進条例	27	市民	主要な取組 概要 性にあまりにもこだわっていないか？ 女性の側に甘えがないか。(働く意欲、能力、視野等)	・性格や能力の問題でなく、性による差別をなくするという理念条例で、条例によって、市民啓発のスタートになる。(佐藤さん) ・この条例は男女が共に等しく活動する“機会”を確保する事を目標としています。等しく活動の機会が与えられないため、能力等を発揮できない事を防ぐためです。等しい活動の機会があるにもかかわらず、現れた能力差を評価する事を否定するものではありません。(川端さん)	?
子育て支援	28	市民	(子育て支援)本文 3段落目 片親でも母と子の関係は論じられるが、父と子の場合は殆ど論じられていない	ひとり親というのは、母子父子の家庭を意味するものです。	?
子育て支援	28	市民	子どもの「しつけ」が先でないか。近隣の人とまともに挨拶の出来ない子どもの態度を修正することが先。(他の市町村では見知らぬ人にも挨拶の出来る町がある)	子どものしつけについては、提言シート(11)いきいきとした子どもたちが育つまちに反映しました。	
子育てひろば	29	市民	主要な取組 概要4行目 「行政はその調整を行います」 教育委員会、教職員の理解が得られるか	学校は市や市民のもので、事業の妨げにならない限りできると考えます。	?
教育	30	市民	(学校教育)本文6行目 「少人数学級制度を進める」 (前掲)本当に良い制度か	生徒、児童への細やかな対応において、少人数学級の方が望ましいと考えます。なお、大人数教育にも競争による切磋琢磨というメリットはあります。この提言書は、箕面の魅力アップを掲げ、若い世代の流入を考えています。子どもたちが増える状況を控え、少人数学級であるほうが望ましいと考えます。	?
教育	30	市民	(学校教育)本文最下行 「子どもたちに学びの場所と機会」 専門の学校では何故いけないのか？ 障害を抱える子の親のエゴでは？(思いは理解するが)	障害を持った子どもたちも、この社会の中で多くの人と触れ合いながら、普通に暮らしていけることが幸せだと考えます。そのための選択肢があることは大切だと思われまます。	?
教育	30	市民	(子どもの育成)本文下から2～3行目 「地域の人たちも積極的に、学校施設を利用できるようにし」 学校のセキュリティ重視の現状の中で理解が得られるのか	利用する人に登録をしてもらい、名札などをつけて使えるようにします。	?
教育	30	市民	(青少年育成)本文3～4行目 「これから大人になっていく若者」 発言するのは優等生が多い。これらの意見は本音なのか？	彼らが本音を語れるようにするのは、大事なことだと思います。ご意見ありがとうございます。	?
少人数学級	31	市民	暮らしの姿1つ目 指標1つ目 「30人以下の学級」 何度も指摘しているが、本当に良い施策か？	生徒、児童への細やかな対応において、少人数学級の方が望ましいと考えます。なお、大人数教育にも競争による切磋琢磨というメリットはあります。この提言書は、箕面の魅力アップを掲げ、若い世代の流入を考えています。子どもたちが増える状況を控え、少人数学級であるほうが望ましいと考えます。	?
ゲストティー チャー、出前講 座	31	市民	暮らしの姿2つ目 「ゲストティーチャー、出前講座」 現状の教職員に受け入れさせる手段は？(授業時間、よく教員資格の有無などを問われるが)		?
もみじだより(子 ども版)	31	市民	主要な取組3つ目 大人でもどれだけの人が読んでいるのか？ まして子どもに読ませる編集が出来るのか。(その効果とかかわる職員の労力(人件費)の問題)	市報に子どもたちのセクションを作るということに意義があると考えます。これらが生み出す副次的な効果まで考え、あるほうがよいとの結論を出しました。ちなみに、全てを熟読する方は少ないと思いますが、ほぼ毎月、興味のある部分を読んでいる方を含めて、7割の方が読んでおられます。	?
子ども市民会議 (仮)	31	市民	主要な取組4つ目 発言するのは優等生の発言では。(本音が出るのか)	優等生の発言だけにならないようにするのは大切なことであると思います。子どもたちが自らで道を切り開くことが大切であると思い、この提言をいたしました。(仮)が取り外されていないのもそのためです。	?

パブリックコメントに対する意見とその考え方(提言書)

項目	ページ	ご意見提出者	ご意見	ご意見に対する考え方・対応	取り扱い
生涯学習	32	市民	民間、大学、その他各種カルチャースクールがあふれている中、箕面市があえて学習講座を開く意義は？	普通救命講習など、市が行なうのにふさわしいプログラムがあります。また、生涯学習に興味を持つちょっとしたきっかけとして、市の短期のプログラムは魅力的です。民間にもお試しコースはありますが、市の方が少し長めであることが、自分に合ったものを探しやすくしています。そこから、より学びたいと思い、民間のスクールに通う方もおられます。全ての方に生涯学習の機会をつくることを考えれば、箕面市が開催するのは必要なことです。	?
図書館の指定管理者導入希望	32	市民	生涯学習の柱として、図書館機能の充実が重要な課題です。現状の図書館サービスの充実のため時間延長などをテーマとしてとりあげるべきです。現在夫婦就労・高齢化など社会の構造が変わっているなかで、時間内に利用のむつかしさ・一方では時間余りの高齢者など、現在は週数回の延長時間はあるが、開場時間・閉館時間延長・休日削減などの導入を希望したい	ご指摘ありがとうございます。図書館の充実も必要なことだと思います。開館時間・閉館時間延長・休日削減などの導入についてを提言シートに記載しました。	
生涯学習	32	市民	(生涯学習)本文下から3行目「自分の学んだことを地域で生かすことのできる場」 どの様にして講座内容がそのようになっているのか		?
市民人材バンク	32	市民	暮らしの姿2つ目 指標2つ目 (この数字は)延べ人数か	分かりやすくするため、「市民人材バンク登録者数の活動人数」に名称を変更しました。	?
	32	サポートスタッフ	主要な取組 概要1行目「人材」「人材」?	ご指摘ありがとうございます。変更いたしました。	
市民人材バンク	32	市民	主要な取組 人材として活用する方法を教育する。自分の知識を上手に伝える方法(話し方、黒板、スライド等の使い方)、表現力、伝達力などを教育する方法を考える(具体策を作る)		?
エネルギー	33	市民	再利用、活用のコスト、エネルギーとの収支は？		?
	33	サポートスタッフ	(エネルギー)本文4行目「先駆け都市」 「環境」を入れないと通じません。「さきがけ」でなくていいですか？		
ごみ	33	サポートスタッフ	(ごみ)本文1行目「資源の有効活用を進めるなど」 人がごみと認識していても、占有者がごみと認識していなければそれはごみではありません。従って、ごみを資源と定義づけるよりも「再資源化を進めるなど」に変更した方が適切である		
ごみ	33	サポートスタッフ	(ごみ)本文1行目「真剣に」 この表現は主観的な言葉で、その根拠も曖昧であり多くの人に共有認識いただけるか疑問である		
ごみ	33	サポートスタッフ	(ごみ)本文2～3行目「分別収集、マイバック持参運動…減量を推進します」 列挙している事例のレベルがさまざまで、優先順位も明確でない。改善例としては「リデュース、リユース、リサイクル」でまとめるか、あるいはそれに基づいて事例を列挙する方が良いと思う		
ごみ	33	サポートスタッフ	(ごみ)本文3行目「事業所系のごみ減量も進めます」 それまでの取り組みは「家庭ごみ」であることを表記するとともに、「事業所系」ではなく「事業系ごみ」に変更すべきである		
	33	サポートスタッフ	暮らしの姿 説明文1行目「エコ車」 「エコ車」で通じるのでしょうか？		?
	33	サポートスタッフ	暮らしの姿 説明文「ゴミ」 提言シート14 「ごみ」に統一してはどうか		
ごみ	33	サポートスタッフ	暮らしの姿 説明文3行目「ゴミ分別意識の高揚…リサイクルも進み」 リサイクルの結果として減量化なので、順番を入れ替えてはどうか		
ゴミリサイクル率	33	サポートスタッフ	暮らしの姿 指標「ゴミリサイクル率」 提言シート14 平成19年度実績 17.58%		

パブリックコメントに対する意見とその考え方(提言書)

項目	ページ	ご意見提出者	ご意見	ご意見に対する考え方・対応	取り扱い
ゴミリサイクル率	33	サポートスタッフ	暮らしの姿 指標「ゴミリサイクル率」 最終目標90%になっているが、実績値との差が大きく実現可能性が低いように思う(徳島県上勝町でも34分別、リサイクル80%)		
	33	市民	暮らしの姿の実現に向けての取組み方向性について 2015年までにマイナス10%の指針となる働きかけは小さな各家庭にももちろん大切だが、商業施設など排出量の多い施設、商店街、自治会単位などの大掛かりな取組みが成功への一歩だと考えます。また環境や財政への負荷の少ないコンパクトなまちづくりを明確に志向すべきです		?
省資源行動	33	サポートスタッフ	主要な取組み1つ目 列挙の事例レベルが様々なので、先ほどの3Rでまとめるか、あるいはそれに基づいて事例を列挙する方が良いと思う		
上水道	34	市民	(上水道)本文3行目「協議・連携」 具体策、戦略は?		?
	34	サポートスタッフ	暮らしの姿 指標「緑被率」「自己水量(比率)」「雨水浸透率」 説明がいろいろあるのでは?	用語解説を準備していく予定です。その時にはご協力をお願いします。	
土地利用	35	市民	山麓の大規模な墓地開発にどの様な考え方で対処するのか	一般的には、ハザードマップの土砂災害時すべり地域のようで、安心・安全の検討が必要でしょう。	
公共交通	36	市民	暮らしの姿2つ目 説明文1~2行目「負荷の少ない燃料のステーション」 ガス、バイオ燃料のことか。業者は採算性を重視するので箕面市だけで解決は不可能		x
コミュニティバス交通	36	市民	主要な取組1つ目 自治体経営のバス事業が採算に合うのか。多くの既存都市で経営的に苦しんでいる現状をどう考えるのか	今市が構想を練っているのは、自治体運営ではなく、阪急バスでのコミュニティバスを考え、具体化に向けて協議しているところです。	
コミュニティバス交通	37	市民	主要な取組1つ目 概要1行目「削減でき税収が伸びる」 定量的に把握しているのか		
第二名神高速道路	37	市民	主要な取組2つ目 市民レベルの論議で結論は出るのだろうか。国政レベルの政策であり、専門家、利用者、(事業者)の論議が優先すべきである	国の事業だが、トンネルの残土を箕面市に捨てる事に市が全く文句をいえないのはおかしい。これからの自治体は、地方分権、地方自治の時代、府のみならず、市でも国に物申すことも必要。	
	37	サポートスタッフ	主要な取組2つ目 概要2段落目 この段落は、必要ですか?		x
	37	サポートスタッフ	主要な取組2つ目 概要2段落目2行目 「モーダルシフト政策」説明がいろいろあるのでは		x
第二名神高速道路	37	市民	主要な取組2つ目 概要3段落目3~4行目「423号トンネル湧水による箕面山の水涸れ問題」 長期的に考えているのか。(やがて湧水量が減少することはないのか)	去年辺りで、減る予想されていたが全く減る兆候がない。	x
第二名神高速道路	37	サポートスタッフ	主要な取組2つ目 概要下から2行目 「環境アセスメント」説明がいろいろあるのでは		x
北大阪急行延伸	37	市民	第4次総合計画には北大阪急行延伸の推進が計画されていたが、厳しい財政状況下で、一部の人が受益するだけで、高額な負担をしてまで進めるべきで性格のものではない		

パブリックコメントに対する意見とその考え方(提言書)

項目	ページ	ご意見提出者	ご意見	ご意見に対する考え方・対応	取り扱い
北大阪急行延伸	37	市内在勤者	<p>これから慎重に進めるべきというのですが、必要性をしっかりと判断して、多大の財政負担を伴う懸念があるのならば、しっかりと財源の確保や工法の見直しによる工事費の削減など行政として真正面から検討努力し、収益がとれるよう箕面の町をさらに活性化していくように、これからのまちの持続的な発展と整合性をもたせればよいのではないのでしょうか。</p> <p>最初から行政が逃げ腰で努力しているように見えません。もっと実現の可能性を高める努力を計画に盛り込むべきです。</p> <p>つい先日、京都から豊中に引っ越しをしましたが、私は箕面で働いており、旦那は江坂で働いています。お互いの職場のちょうど中間に住むということで、服部付近になりましたが、北大阪急行を延伸していただければ、箕面に住むことも可能でした。</p> <p>箕面は大阪市内や豊中市よりも安全な地域なので、延伸することで箕面に住もうと思う人が増えるのではないかと思います。都心に近く、自然がたくさんあり、安心して暮らせる地域というのは大阪では非常に少なく、元々住んでいる方以外にも市民を増やすこともまた視野にいれていただければと思います。そして、より交通の便が良くなることで観光客の増加につながるのではないかと思います。</p>		
自然保護、観光資源、歴史文化について	38～44	市民	<p>提言シートで扱われている、(22)自然環境の保全、(23)歴史・文化・伝統行事、(25)観光ビジネスについて、市の方針の骨格となる観光基本計画を策定し、事業ごとの個別対応ではなく包括的な取り組みが必要であると考えます。</p> <p>明治の森公園は、紅葉以外のシーズンでも観光客を呼び込める魅力溢れる場所です。公園内には、箕面山と縁の深い瀧安寺もあり、歴史・文化面でも魅力的な環境が整っています。さらに最近では、古い建物をリノベーションした橋本亭、音羽山荘、梅屋敷、一汁二菜うえのなど、新しいスポットも増えました。</p> <p>このように瀧道・明治の森は多くの観光資源をかかえています。市役所各部署、関係団体がそれぞれに行事を企画し、PR活動をおこなっているため、残念ながら市外への宣伝力は弱く最大限に活かしていきにくいと考えます。</p> <p>従来のような癒し、健康、スポーツという枠を超えて、「おしゃれ」「買い物」「遊び」「教養」などアミューズメント性が高く、人々の感性に訴える楽しい企画と、新しさを取り入れた広報宣伝活動に変えていく必要があるのではないのでしょうか。そのためには、観光事業に関する年次行事、推進体制、予算などを見直し、長期的な戦略と時代のニーズにあったイベントの開催を期待します。</p>	<p>「箕面らしさ」として「自然環境」「歴史文化」「住環境」「観光・農業」と4つの政策を取り上げ、提言書としては4つとしましたが、私達市民会議の思いはこれら4つの政策を個々に実行する(いわゆる縦割り行政)を指示しているものではありません。実行段階ではご指摘どおり包括的、総合的な組織体制で実行される事が望ましいものと考えております。「箕面らしさの」魅力をより一層高め明日の箕面に繋げて行く事を大きく目標4としてとらえ「次期総合計画に織り込むべき」との提言です。この問題に限らずいまでも縦割り行政が色々と言われてきています。これから地方分権の時代、自治体間競争の時代です。民間経営の発想で言えば、観光産業は市長自らアピールが必要。大阪府、や宮崎県知事に見るようなトップセールスやPRの時代です。箕面もこれからは検討しなければならないでしょう。その意味でご意見に同感です。</p>	
自然	38	市民	(自然) 本文3行目 「箕面トンネル」環境破壊に直結するのか	今回のトンネル工事によっていくつかの川の水枯れが起こり、山の保水力をなくし、生態系を壊しています。	?
自然	38	市民	(自然) 3. 1行目 「手入れもできていない市内の公園」実態を把握しているのか	市民会議の多くのメンバーの意見一致するするところであります。	?
	38	サポートスタッフ	(自然) 3. 下から1～2行目 「アドプト活動」説明があるのでは	ご指摘の通りだと思い提言書に説明させていただきました	
自然	38	市民	(自然) 3. 下から1～2行目 「アドプト活動」花作りだけがアドプトか	川、公園、道路の清掃、植樹などがあります。	
	38	サポートスタッフ	暮らしの姿 野生生物の数「適当」と「適正」がありますが、どちらかに合わせた方がいいのでは	適正数と修正いたしました	
	39	サポートスタッフ	主要な取組1つ目 概要2つ目の項目この項目間のつながりがわかりにくい。1行目と2行目の間は「、」でいいのでしょうか。	2つの表現に分けました	

パブリックコメントに対する意見とその考え方(提言書)

項目	ページ	ご意見提出者	ご意見	ご意見に対する考え方・対応	取り扱い
水辺循環の整備と健全な水循環	39	市民	主要な取組2つ目 概要2つ目の項目「親水河川(水辺の学校)事業の推進」急増水の安全避難対策は？	先月の神戸市・都賀川の鉄砲水による死者災害は大きな教訓となりました。水辺循環の整備として「親水河川事業」を推進していく中で、安全避難対策は欠かせる事が出来ない課題です。別冊提言シート(21)にはその対策の取り組みも提案いたしております。 提言シート21;役割分担を参照して下さい。(?)	
水辺循環の整備と健全な水循環	39	市民	主要な取組2つ目 概要3つ目の項目「ダム湖のヘド口を解消」具体策は？	箕面川ダム湖に堆積したヘド口を解消しない限り下流にの川原や岩、淵にヘド口が付着します。具体策までは検討いたしておりません。	?
	39	サポートスタッフ	主要な取組3つ目 名称 都市公園をもっと「配置」して、「人にやさしいまち」を作ろうという意味ですか？	都市公園法では住民一人当たり6㎡がもとめられているのに対して、現在箕面市では開設済み公園が2.7㎡しかありません。計画は8.9㎡としていますので、今後も都市公園を開設していく予定です。 提言シート20に、合わせて、主要な取組2つ目 名称に「整備」と、概要に「整備の検討」を加えます()	
都市公園の配置	39	市民	主要な取組3つ目 概要3つ目の項目 現状の市民のコミュニティでできるのか。(コミュニティの育成が先決)	将来都市像に自助、共助と詠っているとおり、地域コミュニティづくりはもっとも重要な政策と考えています。そんな考えのもと都市公園も地域の住民が主体的に管理していくことが望ましく、コミュニティ作りと同時進行させていくべきと考えます 提言シートには、自治会や子ども会、老人会、その他有志の「公園維持管理団体」の参画もその一歩に意見も頂き練り上げました。どちらが先決かよりも「あれもこれも相乗効果型」も有効だといわれているようです。(?)	
歴史・伝統文化	40	市民	(歴史・伝統文化)本文2行目「仏教文化」 神社は？	仏教文化に特定したわけではありませんので、「神道文化」も追記しました	
歴史・伝統文化	40	市民	歴史的建造物については？	市指定文化財の中に、歴史的建造物も含まれています。	
「新しい箕面文化への支援」について	40	市内在勤者	育成支援制度について 単に優秀だからそのグループを支援していくというのではなく、芸術振興をするのであれば、もっと大きな視点で全体を捉え、優秀なグループだけではなく、芸術活動をする全ての人が箕面で可能性を見出せるような、すその拡大を目指す支援制度にしたいです。 若手アーティストや文化の担い手が育ち集まる仕掛けについて 新しい文化(芸術)が活動するフィールドは広いです。実質、現状は様々なコンテンツに関わる優秀な人材が関東に流れていく傾向にあります。関西では、昨年からそういった優秀な人材を関西に留める活動を始めているところもあります。 ただ単に金銭的な支援だけではなく、「箕面を拠点にして活動ができる環境作り」という考え方が重要になってくるのではないのでしょうか？優秀だから支援するのではなく、支援すべき人材を街が育てるくらいの勢いが必要だと思います	育成支援制度はある程度枠を設けることが必要かと考えます。しかし市民の「文化・芸術活動」に対して行政から最大限の理解と支援を求めてゆきます。	
	40	サポートスタッフ	暮らしの姿 指標4つ目の単位 「点」というのは、どう数えるのでしょうか？	正直表現に困りました。芸術・文化は内容も異なりますので、どう表現すべきでしょうか？	?
観光・産業	43	市民	提案書を読ましてもらい、表面上の改善策の上書きのみで、なぜに活性化しないかという掘り下げた内面についての検討が欠落していると感じました。 年中集客をとるためにコンテンツの掘り下げや特産品の開発を必要としているが、それだけでは集客や売上増加に繋がりません。現在もTMO中心に行っていることだと思います。 今後、観光・商業の活性化を定着させるには担い手となる商店街、観光協会、箕面市、商工会議所、まちづくり会社が各々の使命や役割分担の見直しによる構造改革(土台)が必要です。提案書に書かれているコンテンツの掘り下げや特産品の開発は表面的で単発的なものになり、一過性の活性化にすぎません。 行政による新しい観光と産業でまちを活性化する構造を変革するという位置づけがあつての活性化策の策定が今後、具体化することで可能となると思います。表面上の活性化策ではなしに実際、活性化策に必要な土台を拡大し強化させる事を重点課題とすべきだと思います	ご指摘のような構造改革が必要なかもしれませんが、2004年「箕面市中心市街地活性化基本計画」が作成され、その後TMO構想が市から認定され「箕面わいわい(株)」が設立されハード事業、ソフト事業が進められてきており今日にいたっていると認識しています。そして今年度より箕面駅前活性化計画も着手されるやに伺い、市民会議の私達としては暫くは観察するタイミングとしてそれ以上に踏み込む事をおこないませんでした。よってこの提案が、表面上の改善策で終わっていると受け取られてしまったのでしょうか。また「観光・産業・市街地活性化推進・商業振興」が「まちの活性化」に直結する大きな検討課題でもあり、市民会議のメンバーとして検討時間が不足してしまいました。よって今後の総合計画検討の策定委員会や審議会へ検討を委ねたいと思います	

パブリックコメントに対する意見とその考え方(提言書)

項目	ページ	ご意見提出者	ご意見	ご意見に対する考え方・対応	取り扱い
	43	サポートスタッフ	(観光)本文4～5行目「コンスタントに」 「常に」くらいでどうでしょうか	コンスタントは一般用語として使用していませんか?でもご指摘に従い訂正しました	
観光・産業	43	市民	暮らしの姿 具体策が乏しく、新たな提言もなくこのようになるのか?	観光客数は景気動向や人々の求める価値観で大きく変化するもので予測しがたい部分がありますが、方向性としては健康志向、癒しなど自然を求める時代へ移っていくものとしての期待値です。基本構想として方向性を示しましたが、あまり具体策にはふみこめてはいません。	
農地・農業	44	市民	主要な取組3つ目 概要 2つ目「朝市の市域の展開拡大」 既存営業者との折り返いはつのか。(1つのパイを食い合うだけではないか)	地産地消の一つの政策として朝市を進めていきますが、消費者行動を規制するものではありません。まして既存営業者との折り返いに介入するなど考えていません。(田中) 大規模事業者のスーパーに行くかわりに、地元のものを買うので競合しない。(佐藤)	?
	46	サポートスタッフ	暮らしの姿 指標2つ目「地域予算制度適応率」 説明がいたるのでは?		x
	46	サポートスタッフ	主要な取組1つ目 概要下から2行目「地域別ロードマップ」 説明がいたるのでは?		x
	47	サポートスタッフ	(公益市民活動)本文下から3行目「シカケ」 カタカナにする必要はありますか?		
NPOの活動促進について	47～48	市民	NPOなど市民の自発的な活動で地域が活性化するには、NPOがその特徴を活かしながら社会貢献できる仕組みが必要です。提言シート集60ページには、NPOの発展性や専門性・組織力について課題が書いてありますが、この課題を解決するためには、個々のNPOのマネジメントを強化する方向ではなく、ネットワークやコーディネート役を果たす中間支援組織のあり方を再度検討する必要があるのではないかと考えます 一昔前のようにNPO＝ボランティア活動ではなく、最近では企業の社会的貢献やコミュニティビジネスが盛んになってきました。また、地域を活性化するには、NPOの他にも地元の企業や商店街、自治会などの協力も必要で、それぞれが多層的につながることで質面が個性的なまちになると考えます。そのためには、NPOの中間支援機能を担うのは市民活動センターだけではなく、外郭団体や商工会議所との連携も検討する必要があります。「みのお市民社会ビジョン2020」策定の時には、62ページに記載してある代替案:公益市民活動団体協会以外に、もっと視野を広げた議論をしてほしいです		
公益市民活動	47	サポートスタッフ	暮らしの姿2つ目 説明文1行目「自立化」 「化」は不要では?		x
		市民	補助金を受けないとの意味?		
みのお市民社会ビジョン2020	48	市民	主要な取組1つ目 概要4行目「行政」 縦割り行政をどう解消するのか		x
	48	サポートスタッフ	主要な取組1つ目 概要下から1行目 「明確化します」「明確にします」 「(代替案公益市民活動団体協会)」「代替案として～協会を作る」でしょうか		
市民ファンド	48	市民	主要な取組3つ目 概要1行目「ファンド創設」 資金は?		x
分野別協働事業プラットフォーム	48	サポートスタッフ	主要な取組6つ目 概要下から2行目「プラットフォーム」 説明がいたるのでは?		x
行政経営	49	市民	・透明性の高い行政運営には積極的な情報公開は不可欠である ・行政内部のみによる評価では不十分であり、市民を含む第三者に評価が不可欠である ・自治基本条例の制定、経営改革推進本部並びにまちづくり市民会議(仮称)の設置は大変有意義である	ご意見にある通り認識しており、提言書にも織り込みました。	

パブリックコメントに対する意見とその考え方(提言書)

項目	ページ	ご意見提出者	ご意見	ご意見に対する考え方・対応	取り扱い
行政経営	49	市民	(行政経営)本文1~2行目「市民のニーズに沿った...行政の役割」 市民のニーズは、とかく近視的になる。長期的、本来的視点は行政専門家の努力と資質とする	行政の役割はおっしゃるように長期的視点で見た市民のニーズに沿ったまちづくりが実現することです。そのような市民ニーズを掌握する上で行政の専門家の努力や資質も必要ですね。	x
行政経営	49	市民	財政の改善策に見るべきものがない	大型開発投資をしないか、細かな改善策を積み上げるしかありません。行政職員のスリム化などは財政改善に効果があると思いますが、起死回生策があれば教えて下さい。	
市民参画	49	市民	「審議会」はその位置付け、役割を変えねばダメ	おっしゃる通り「審議会」の位置づけや役割変えることも必要かもしれませんが、その前に多くの審議会が形骸化している現状に鑑み、実質的な議論を重ねるなど本来の役割を果たせるよう運営を改める必要があるのではないのでしょうか。	
	49	サポートスタッフ	暮らしの姿3つ目 指標 財政用語の説明があるのでは？	市民向けの資料の場合は必要でしょうが、市長への提言書ですので、行政で通常使用されている専門用語は説明していません。	x
地域経営改革の視点	51	意見交流会	縦割りでない分野横断的な取組みが必要。	おっしゃる通りですので付け加えました。	
「市、事業者、市民の役割を条例で明らかにして取り組みをすすめます」について	51	市民	個別提言に関しては、よく練られていると思うが、条例として実施する時の現場の仕掛けが描かれていない。いいことを並べているので総論賛成だが、実施する時の各論反対になりかねない。個別提言の予算及び費用対効果の検討が抜けているために、内容的によい事を言っている範囲に止まっている。また、ここで言う「市民の役割」とはなにか?「自助」と合わせて議論を要するところだと思う	ご指摘の通り具体的な実施要領にまでは踏み込んでいません。本件は総合計画の基本構想に関する提言ですので、基本的な方向を提言するに留まっていますが、基本方向が決まれば、それに沿った実施計画や具体的な実施方法が検討されるはずですよ。	x
地域経営改革の推進のための取組み	52	意見交流会	提言を実行していく仕組みが大切。PDCAを誰が行うのかをきちんと定め、行政を動かしていくという真面の自治度のレベルアップが求められる。	提言にある「まちづくり市民会議」が設置され、その活動が成果を上げることを期待しています。	
自治基本条例	52	意見交流会	自治基本条例により弊害がでている自治体もある。良い形で自治基本条例が運用されることが重要	おっしゃるとおりです。「自治基本条例」については提言シート32に詳しく提言しています。	
	54	サポートスタッフ	(1)現状と課題 3段落目2行目「反映させていただくべきなのです」 違和感のある表現です。断言しにくいなら、「反映すべきではないでしょうか」といった表現ではどうでしょうか	違和感のないような表現にします。	
市議会に関する提言	54	意見交流会	議会についても積極的に踏み込んで提言してよい。	地域経営のあり方を検討する中で、市議会に期待したいことはたくさん出てきましたが、総合計画のなかで議会の方向性についてどこまで触れることが許されるのかわかりませんでしたので(これまでの総合計画では全く触れていません)、提言書に付記した程度にとどめました。	
市議会に関する提言	55	意見交流会	議員のレベルアップが求められる。どうレクチャーし、どう理解を深めてもらうか。	議員のレベルアップが必要とすれば、それは議員自身に努力していただく問題だと思いますが、提言にあるようにもっと市民に開かれた議会になれば、議員の皆様にも大きな刺激にはなると思います。	x
市議会に関する提言	54	市民	市議会に関する提言は大変有意義である。議会運営ならびに議員活動の透明化は市民全体のことに無関心で、一部の地域や市民の利益代表の意識しか持たない議員と多くの市民に影響する問題に意欲的に取り組む議員とを市民が判別する一助になる	もっと市民に開かれた議会になることを期待しています。	

パブリックコメントに対する意見とその考え方(提言書)

項目	ページ	ご意見提出者	ご意見	ご意見に対する考え方・対応	取り扱い
市議会に関する提言「市民に開かれた議会へ」	54	市内在勤者	この提言は、いかにも提言として偏向していると感じます。市長は、出前座談会をやっているから民意を反映し、その市長と対立しているから議会は民意を反映していないという短絡的な論理が透けて見えます。もしこの問題を語るならば、あれほど前市長が出前座談会をやっているが民意で交代することにはならないはず。むしろ、問題は、市長が参謀や調整役としての副市長を置かず安易に人件費の抑制として庁内の調整機能や政策実現力を著しく低下させたまま走ったことにあると思います。市議会が民意を反映していないから市長と市議会との対立が続いたのではなく、市長が調整機能や政策実現力を著しく低下させたことに真の原因があったと思います。しかし、一方で市議会は、市民にもっと開かれた運営をすべきですし、議員はもっと自らの活動を市民や地域に広報すべき責務があると思います。これらは、本来、地方自治の本旨にも関ることですし、議会制民主主義の根幹に関することです。制度については、総合計画で論じるべきものではなく、議会内部の主体的な取組みが求められるものだと思います。本会議や委員会をより身近にわかりやすいものとするために、論点を整理するとか、解説をするとかさまざまな広報手段があると思いますが、この提言は、いささか具体的に踏み込んである割には研究不足かと思えます。本筋としてこの問題を指摘し、市議会の主低的で具体的な検討を促すにとどめるべきかと思えます	市民会議には総合計画に関する提言をまとめるために多くの市民が参加していますが、特定の市長や市議会議員に対する評価や議論は全くしておりません。従って、ご意見の前半部分についてはコメントできません。 市議会に関しても、何かを提言しようとして検討したわけではありませんが、地域経営のあり方を検討する中で、おっしゃるような課題に気づき、敢えて提言書に付記したまでです。市議会の方向性について、総合計画で触れるべきではないとは思っていませんが、ご意見にあるように議会自らがもっと市民に開かれた議会になるよう変革するにこしたことはありません。	x
市議会に関する提言	54	市民	市民が議会への出席をうながす施策は、働きかけは？	市民が議会への出席とは傍聴のことでしょうか？提言書にある通り全党派の議員と市民との直接交流の機会があれば、市民の議会への関心を高めたいと思います。	
市議会に関する提言	55	市民	議員と市民の交流会開催 一部、趣旨は異なるが実施されている	一人の議員が市民に報告をしておられますが、全会派の議員が集まって市民に説明する交流会はないと思います。	x
市議会に関する提言	55	市民	文末「共有します」 文末「向上させます」 「共有してほしい」、「向上してほしい」	提言書であって要望書ではないのですが表現を検討します。	
		市民	策定・運営について 5W1Hで超具体的な計画に仕上げてください 総合計画は市民の願望ではなく、ぜひ実現して欲しい事柄です。それだけに今までの計画書と違った文言で記してください 進捗管理に必要な工程表を作成し、運用と情報公開をしてください ぜひ実現しなければならない、重点項目にもっと絞ってください 行政コストの縮減が優先事項の第一です、甘い見込み数値を採用しないようにしてください 実態を正しく認識した上で目標の定量化を図る。少人数学級などは既に達成している 人事異動など担当者を変更する場合、引継ぎ書でもって遺漏の無いようにする	次期総合計画策定のこれからについて貴重なご意見を頂き有難うございます。 最終的には具体的な計画が必要ですので、それは総合計画の基本構想や基本計画をベースに、実施計画や分野別の計画として策定されるはずですが、これまでのような実現できたのかできていないのかよくわからない総合計画ではなく、次期総合計画では達成目標(指標)を設定するなど進捗状況をフォローできる計画をめざしています。 PDCAシステムの採用を提言していますので、それが受け入れられれば、ご要望にも沿えると思います。 行政から全分野を網羅した基本構想を要請されており、特定項目に絞ることはできませんでした。 提言書では是非達成すべき数値目標を掲げていますが、目標達成に要する財政支出までは試算できませんでした。具体的には次のステップ(策定委員会、審議会)で検討されます。 指標については実態が未調査の項目もあり、それらは定量的な目標が設定できませんでした。また、少人数学級は30人学級を、箕面市では制度としてまだ採用されていません。 ご指摘の通り人事異動の場合の担当者間の引き継ぎはきちりなされる必要があると思います。そのような業務を標準化することも提言しています(提言シート29ご参照)。	x

パブリックコメントに対する意見とその考え方(提言書)

項目	ページ	ご意見提出者	ご意見	ご意見に対する考え方・対応	取り扱い
		市民	暮らしやすさの条件整備が総合計画 将来人口・年齢構成、どれもあまり明るい材料は箕面市においてもありません。街の賑わいや、安全はそこに住む人が創るものです。今一度暮らしやすさの条件を見直してください。今以上の開発はいいません。もっと地元の商店がにぎわい、地元の住人が歩いて生活ができる、街づくりを力を入れてください。住人の往来が増えれば、安全・安心が高まります。大型店・CVS・携帯ショップなど損得だけで出店・退店を繰り返す街は荒廃するのみです。新市長の体制で策定される総合計画は非常にタイミングがよい。箕面市を経営する新社長としてこの経営計画はぜひやり遂げ、借金をまず返済してください	ご提案は市民会議の「人が元気、まちが元気、山が元気 みんなでつくる箕面のあした」や「住みつけたいまち、住んでみたいまち」など提言の想いをご支持頂いたものと考えます。 これから始まる次期総合計画策定において、これらの想いが取り込まれた具体策が実現出来るよう市民会議として新たな努力をいたしたいと考えます。	
		市民	サポートスタッフの役割と機能について スタッフに延べ人数とは思いますが、多数の市職員が参加している。この職員は総合計画を立案するためのスタッフなのか、この会議の円滑な進行をサポートする為のものか、立場が判らない。 前者であれば、市職員の資質に重大な疑問を感じる。つまり、自分たちも参加して纏めたものは、少なくとも自部署で、提言が実現可能と考えられるものか、もしくは実現に向けて、他の職員をも巻き込む気概がもてるものに出来たのかが問われる。 後者の場合なら、主管部署が年度予算で「市民を巻き込んで、提言を纏める活動を進める」行事の一貫として実施した場合で、この場合は、主催部署が予算消化の為にに行ったに過ぎず、提言内容が参加した市民の期待に沿うことは無い。(昨年、一昨年開催の“まちづくり塾”などの例)	サポートスタッフの皆さんは、行政に関する知識に乏しい市民委員に対して資料や知識を提供していただくだけでなく、市民と一緒に考え、一緒に議論し、一緒に提言シートを作成していただきました。市民会議の進行のサポートは事務局の職員が精力的にやってくれましたので、サポートスタッフは総合計画を立案するためのスタッフだったと思います。 提言内容は必ずしもサポートスタッフの皆さんの意に沿う内容ばかりではありませんが、この提言が総合計画に反映されるよう次のステップでもバックアップしていただけるだけではなく、議論を通して出てきた市民の意見を実務にも生かしていただけるものと期待しています。 おっしゃる通り「まちづくり塾」での市民の提言は行政で充分活かされたとは思えませんが、市民会議の提言はそのまま「総合計画策定委員会」で検討されますので、若干の修正はあるとしても、その骨子は次期総合計画に織り込まれるはずで	?
		市民	財源的裏付けが感じられない 市民の提言の弱点に、身近な問題に関心が高まる傾向がある。つまりどちらかと云うと、近視眼的な要求が多い。その実行に多額の費用を要する点には、行政が何とかする、乃至は行政の無駄を排除せよの声で片付ける傾向がある。しかし、それで費用が賄えるのか、検証が殆ど見られない。費用対効果の視点も、突っ込み不足を感じる。 また、自助、共助、公助と唱えながら、市民自身が自ら負担する(例えば税金、経費)覚悟があるかが問題で、国政レベルの消費税論議にみられる如く、市民が本当に負担乃至我慢が出来るのが疑問、特に弱者救済と称し、低所得者、高齢者、要介護者、障害者の負担をどう考えるか、税や費用負担が叶わないなら、せめて我慢の範囲をどうするか、論議すべきでないか	市民の提言は身近な問題というよりは、特定の問題に思い入れの強い人の意見に引っ張られやすい傾向はありますが、市民会議に参加している市民の多くは、多くの普通の市民の視点と長期的な視点を持ち合わせていますので、決して近視眼的な見方はしていないと思いますし、意見交流させていただいた多くの市民の皆様のご意見も充分反映させていただいています。 ただ、ご指摘の通り提言したいくつかの政策実行には財政負担が伴いますが、投資金額を算定して財政との整合性を検証するところまでは詰めておりません。短期間にそこまで詰めることは市民には難しいので、次のステップで検討されることになるでしょう。 また、この提言では地方分権の時代に入って市民の役割が大きくなり市民協働の推進如何がこのまちの将来を決定づけるとしていますが、おっしゃる通り市民にどの程度の覚悟があるのかがポイントとなります。自助・共助については、財源的裏づけがなくても市民は活動します。お金は出せなくても労力や知恵を出せる市民がたくさんいます。お金が介在しないと何も市民は動かない、助けあわないという時代ではありません。今までは行政がやっていたり、財政面で行政ができなかったことをやりたいという市民の意思でやっていくのが、市民参加です。また、やらされるのではなく、自分ができる範囲のことを積極的に行動すれば、市民にたとえ費用負担が掛かって、大きな負担感はありません。 何でも行政に依存しようとする市民や、評論家や傍観者としての市民ではなく、「箕面のあした」のために知恵を出し汗を流す市民が求められています。	x
		市民	市長権限の及ばない問題と、及ぶ問題とを同じ視点で論じている この提言を市長に提出し、次のステップに移ると記されているが、市長権限(身分与奪の権限)の及ばぬ、市議会の問題、教育委員会に係わる問題、教職員の問題、水道事業の問題、国、府の権限の問題を、市長権限のある問題と同じ視点で論じているが、権限の及ばない問題を、どの様な方法で実現させるのか、具体的方策を示すべきと思う。(単に協議するの記述では、殆ど実現しない)	提言書は市長に提出しますが、本件は市長権限云々に関係なく、箕面市の将来像がどうあるべきなのか、それを実現するためにどんな政策が求められるのか、その目標と方向を提言していますので、箕面市だけではどうにもならない国家レベルの問題は別としても、議会のあり方、教育のあり方なども総合計画に示されることは何ら問題ないと思っています。市民は勿論のこと、行政も市議会も教育委員会もすべての主体が一体となって「箕面のあした」をつくらねばなりません。 なお、この提言書は市議会へも提出します。	x

パブリックコメントに対する意見とその考え方(提言書)

項目	ページ	ご意見提出者	ご意見	ご意見に対する考え方・対応	取り扱い
		市民	<p>市民とは とかく、この種会議に出席し意見を述べるのは、市政の改革に意欲のある方々と敬意を表しますが、公募の性格上、特定の市民(年齢、性別、住所、職業など)が参加する事が多い。その為、市民各層の平均的意見とは異なるケースがみられる。</p> <p>この提言でも熱心さのあまり、市民各層の平均的意見か?との振り返りが忘れ勝ちで、市政に意欲的に取り組んでいるとの自負から、錯覚を起こしていると感じられる。</p> <p>また、市民は誰も馬鹿でないと思っている。しかし、迎合政治や地元利益誘導、単に知っている(知名度、人気)で判断し、苦い経験を持っている、しかし其の反省はあまり見られない。このことをどの程度斟酌しているのか判らない。次項に関連</p>	<p>ご指摘の通り、市民会議の参加している市民全員が市民の平均的な意見を持つていたとは限りません。しかし、個人的な意見はともかく、全員が平均的な市民の目線に立って議論しており、また多くの市民団体との意見交流、一般市民との意見交流、パブリックコメントなどを通じて、できる限り市民の総意に近づけるよう努力しています。そういうことが、却って個性の少ない常識的な提言になりすぎてはいいかと危惧しているほどです。市民の平均的な意見と異なるとおっしゃる部分について、平均的な意見を示していただけませんか。</p> <p>また、この市民会議が迎合政治や地元利益誘導でないことは、内容を見ていただければ用意に判断していただけたと思います。</p>	x
		市民	<p>住民投票と議会制度の関係 この提言に、幾つか「住民投票」の必要性ないしは住民の意思確認の手段として記述されているが、市民の投票によって選ばれた議会との関係を、どの様に考えているのか明確でない。仮に議員の資質に問題ありと云うならば、選挙民の資質、つまり自分たち市民の資質の問題である、前項にも記したように、市民の資質向上に努める市民活動こそ有効な手段でないかと思う</p>	<p>ご指摘の通り市民の自助、共助が叫ばれまちづくりに多くの市民が参加する時代になって、市民の意識や資質の向上は大きな課題です。</p> <p>しかし、議員の資質が問題だから「住民投票制度」を提言しているのではなく、たとえば市の合併など大きなプロジェクトで民意が二分される場合や、選挙の時に争点にならなかった大きな問題が生じた場合などには「住民投票」で決するのが最適の場合もありうと思っています。市長や市会議員は個別の政策ではなく、それぞれの総合的な政策や人格で選ばれており、個別の政策となると必ずしも民意を代表しているとは言い切れないケースも考えられます。</p> <p>なお、ご承知の通り住民投票については、既に「市民参加条例」で認められています。</p>	x
		市民	<p>数値目標が偏重されているように感じられます。現状で「未調査」のものも多く、無理に設定をされているのではないかと感じられます。数値目標を設けたいという気持ちはあるのですが、それが一人歩きをする危険性は十分に認識をすべきであると考えます。</p> <p>生涯学習について、高齢者の学習にイメージが偏っているように感じられます。本来、生涯学習は、市民が主体的に課題を感じ、学び、その解決に向けて自らをエンパワメントしていくものであり、その意味で市民社会の基盤であり、民主社会の基盤を提供するものです。主に時間に余裕のある方を対象とした余暇的な活動というイメージから脱することが必要と感じます。</p> <p>専門的に市政に携ってきており、その意味で専門家として育成されてきたはずの行政職員のかかわりが薄く感じられます。市民との協働は、後ろにさがることなく、対等な立場でホンネで話すことから始まると考えます。専門家としての視点からよりブラッシュアップしていくことが必要なのではないでしょうか。</p> <p>基本的な方針として、箕面市(行政)のしなくてはいけないことは何か、をまずはっきりと認識することから始めるべきものと考えます。しなくてはいけないことは何か、から始まり、そこから必要な負担を逆算していくことが本来であると思えます</p>	<p>これまでの総合計画では施策の到達点があいまいでわかりにくかったので、できるだけ定量的な目標を設定することを提言しています。掲げた数値目標は市民の思いではありますが、すべてを総合計画に織り込むかどうかは、策定委員会などより専門的な次の段階での検討にゆだねたいと思います。</p> <p>生涯学習については、行政から与えられるものではなく、おっしゃる通り市民が主体的に企画し学ぶのが基本だと思います。</p> <p>また、次期総合計画そのものも今後多くの行政職員が関わって市民会議の提言をベースに原案が起案され、策定委員会や審議会で検討されますので、個々の政策や施策についてはブラッシュアップされると思いますが、この提言書の骨子はすべて活かされることを期待しています。</p>	x
障害者	22	障害者団体(意見交流会)	<p>障害者が現実自立した生活をするためには、ほかに支援があることを前提にしても「平均月内工賃」などの指標の数値は十分ではない。さらに理想の目標に近づけて欲しい。</p>	<p>指標は現実を勘案して可能な限り理想に近づけるよう設定されている。設定の根拠を理解したうえで障害者の生活の現実に基づき出された意見であることを伝えます。</p>	